

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年3月

計画の名称	2. 東京外かく環状道路の整備に合わせた周辺道路ネットワーク整備							重点配分対象の該当	○			
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）			交付対象	東京都							
計画の目標	・東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）の高速道路としての機能を最大限に発揮することに加え、周辺生活道路への通過交通の流入を極力抑えるために計画的な道路ネットワークの整備を行う。											
計画の成果目標（定量的指標）	・新規ICへの15分以内到達エリアを62km ² （H26）から拡大する。 ・公共用地確保率を16%（H26）から100%（H30）にする。											
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考			
						当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)				
新規ICに15分以内に到達可能な地域の面積						6.2 km ²	—	—	東京外かく環状道路開通時の拡大を目標とする			
対象路線の公共用地確保率						16%	—	100%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	7,015 百万円	A	7,015 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	令和2年2月
東京都内部で事後評価を実施	公表の方法
	東京都ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 地方道路整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H26	H27	H28	H29	H30		
2-A1	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	外郭環状線ノ2（大泉）	道路新設 1.0km	練馬区						2,523	
2-A2	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	北野烏山線（北野三丁目）	道路新設 0.2km	三鷹市						47	
2-A4	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	本村井の頭公園駅前線	道路新設 0.8km	三鷹市						537	
2-A5	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	本村井の頭公園駅前線（北野四丁目）	道路新設 0.4km	調布市・三鷹市						51	
2-A7	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	放射第7号線（大泉）	道路新設 2.0km	練馬区						1,171	
2-A8	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	補助第230号線（大泉町）	現道拡幅、道路新設 2.1km	練馬区						390	
2-A9	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	新東京所沢線（中里）	道路新設 0.9km	清瀬市						423	
2-A10	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	新東京所沢線（上清戸）	道路新設 0.7km	清瀬市						264	
2-A11	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	新東京所沢線（中清戸）	道路新設 0.6km	清瀬市						801	
2-A12	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	新東京所沢線（金山町）	道路新設 0.8km	東久留米市						335	
2-A13	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	新東京所沢線（北町）	道路新設 0.4km	西東京市						313	
2-A14	街路	一般	東京都	直接	—	S街路	改築	新東京所沢線（神宝町）	道路新設 0.6km	東久留米市						160	
											合計					7,015	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計					0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

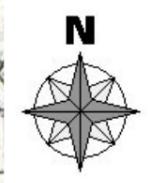
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況					・東京外かく環状道路の整備に合わせた周辺道路ネットワークの整備を着実に推進している。				
II 定量的指標の達成状況	指標①(新規ICに15分以内に到達可能な地域の面積)	最終目標値	—	目標値と実績値に差が出た要因					
		最終実績値	—						
	指標②(対象路線の公共用地確保率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因					
		最終実績値	78%						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)									

3. 特記事項(今後の方針等)

令和元年度以降も新たな社会資本総合整備計画において、引き続き事業を推進していく。

埼玉県



社会資本総合整備計画 参考図面（東京都多摩部・街路／社資P2）

神奈川県

凡例		地方道路整備事業	関連社会資本整備事業	効果促進事業
街路	都施行	—	●	○
	区・市施行	—	●	○
	区画整理・再開発	—	●	○

